

■ 指定管理者制度導入施設 年度評価シート ■

評価年度	令和6年度
------	-------

1 基本情報

公の施設名	相模原市立星が丘デイサービスセンター
指定管理者名	社会福祉法人上溝緑寿会
指定期間	令和4年4月1日～令和7年3月31日
施設設置条例	相模原市立高齢者デイサービスセンター条例
施設の設置目的	在宅の介護を必要とする高齢者に対し、入浴、給食その他のサービスを提供することによって、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の身体的及び精神的な負担を軽減し、もって高齢者の福祉の増進に關与するため。
施設概要	<p>高齢者が自宅から通い、入浴、食事などの日常生活の世話や機能訓練を受けられる施設</p> <p>所在地：相模原市中央区星が丘4-9-14 星が丘住宅1階</p> <p>延床面積：431.68㎡（機械室除く）</p> <p>主な施設：作業及び日常動作訓練室、浴室、食堂、相談室、会議室、ボランティア活動室</p> <p>構造：鉄筋コンクリート造</p> <p>開所時間：午前8時30分から午後5時まで</p> <p>休所日：日曜日及び年末年始（12月30日から1月3日まで）</p> <p>定員数：25名</p>
施設所管課	健康福祉局 地域包括ケア推進部 高齢・障害者福祉課

2 管理実績

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数合計（人）	5,612	4,923	5,106	5,787	4,872
うち要支援1（人）	92	26	0	10	54
うち要支援2（人）	457	376	372	363	218
うち要介護1（人）	1,009	1,246	1,510	1,579	1,155
うち要介護2（人）	1,762	1,855	1,508	1,859	1,245
うち要介護3（人）	1,364	587	993	1,484	1,773
うち要介護4（人）	811	723	553	256	223
うち要介護5（人）	117	110	170	236	204
介護保険事業収入（円）	54,386,640	47,387,987	50,881,260	56,077,354	50,470,632

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
D	<ul style="list-style-type: none"> ・成果指標の達成度は71.3%であり、評価基準により「D」評価とした。 ・中重度の方の受入れが昨年度より増加し、法人が定めた目標値に達している点については評価できるが、全体の利用率については昨年度より低下しており、目標値には達していない。ただし、施設の廃止が決まっている中、他の施設に移る方の増加などにより、前年度からの達成度の低下もやむを得ないものと考えられる。

指標 1	
指標名 (単位)	利用率 (%)
指標式と指標の説明	年間利用者数 ÷ (1年間の営業日数 × 利用者定員数) ※利用者定員数に対する年間の利用割合

項目 (単位)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値 (%)	95.0	95.0	95.0	95.0	95.0
実績値 (%)	72.6	64.1	66.1	76.1	64.5
達成度 (%)	80.2%	70.8%	73.1%	84.1%	71.3%

※制度上、定員制限があるため、実績値100%が最大値になる。実績値100%でも目標値95で割ると達成度は105%になり、評価基準上「A」評価となり、令和元年度以降は実績値100%の場合に「S」評価とするため、1.05を乗じ、達成度が110%になるように調整している。

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施状況の達成度は100.0%であり、評価基準により「A」評価とした。 ・昨年度より事業数が増加しており、また、自立支援ケアを実践し、利用者自身の得意なことを生かす活動を積極的に取り入れる姿勢が評価できる。 ・平日の朝8時30分からラジオ体操の場の提供を行い、地域の資源として施設の活用を図ったこと、また、ボランティアの受入れにも積極的に取り組み、地域に開かれた施設として運営した点について評価する。

市が指定する事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
(なし)			

企画提案事業			
主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
機能訓練外出 (①市立博物館、②バラ、③紫陽花見学、④初詣、⑤梅見学、⑥河津桜見学)	①4/1 ②5/16-18.20.-23 ③6/13-15.17.19 ④1/23-25.27-29 ⑤2/24-28 ⑥3/10	①市立博物館へ外出した。館内の展示物の見学した。参加者人数：5名 ②相模原北公園へ外出した。公園散策と同時にバラを見学した。参加者人数：40名 ③麻溝公園へ外出した。公園散策と同時に紫陽花見学をした。参加者人数：33名 ④亀が池八幡宮を参拝した。参加者人数：38名 ⑤相模原北公園へ外出した。公園散策と同時に梅園を見学した。参加者人数：27名 ⑥上溝本町の庭園の桜、蔵を見学、散策した。参加者人数：9名	○
軽食創作活動 (①たこ焼き、②お好み焼き、③鬼まんじゅう)	①5/30-31、6/1 ②6/24-26 ③11/14-16.25-27	①たこ焼きづくりをした。参加者人数：53名 ②お好み焼きづくりをした。参加者人数：48名 ③鬼まんじゅうづくりをした。参加者人数：97名	○
演奏会 (①ギター、②③ハーモニカ)	①4/6.12.17 ②5/7 ③2/11	①ギター演奏に合わせ歌詞カードを見ながら歌う。参加者人数：58名、ボランティア3名 ②③ハーモニカボラの演奏に合わせ合唱する。参加者人数：38名、ボランティア10名	○
菖蒲湯	5/2-4.6-8	菖蒲を施設浴槽に入れ、菖蒲湯を提供。参加者人数：100名	○

機能訓練行事（流しそめん）	7/15.16.20.24-26	施設内から屋外へ流れるように竹を設置し、季節感を味わいながら指先運動、歩行の運動などを行う。 参加人数：35名	○
納涼祭	8/22-24.26.-28	輪投げ、コイン落とし、射的、すいか割りなど昔ながらの遊戯を行い、盆踊りを2～3曲職員と共に利用者、ご家族（1組）も参加。参加者人数：93名、ボランティア13名	○
敬老祝賀会	9/12-14.16-18	施設において敬老祝辞、記念品の贈呈、集合写真撮影を行う。参加者人数：101名、ボランティア11名	○
運動会	10/10-12.14-16	施設において開催した。パン取り競争、大玉転がし応援合戦など競技へ参加した。参加者人数：95名	○
年忘れ会	12/16-21	民謡、よさこいなどボランティアによる演芸鑑賞し、利用者自身も参加する。参加者人数：97名、ボランティア：14名	○
ゆず湯	12/19-21.23-25	施設浴槽内に地域の方や利用者からの寄付のゆずを入れ、ゆず湯を提供。参加者人数：97名	○
お神輿見学	①7/27 ②1/4	地域のお神輿の見学を行う。①参加者人数：15名 ②参加者人数：13名、地域住民10名	○
コーラス鑑賞会	2/19	コーラスボランティアによる歌唱を鑑賞。参加者人数11名、ボランティア8名	○
お楽しみ会（お別れ会）	3/17-19	施設職員による演芸等を鑑賞。参加者人数26名	○
卒業証書授与式	3/25-29.31	施設職員手作りの卒業証書を授与。参加者人数58名	○
出張握り寿司	-	依頼先の事情で昨年度と同じところに依頼ができず、また、他のところに依頼することも検討したが、費用面で条件が合わず、中止した。	△

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者・効果等	評価
星が丘フェスティバルへの参加	10/19	地域包括支援センターの出店ブースの協力を行った。	◎
星が丘地域包括支援センターへの協力	平日	地域包括支援センターの活動や事業周知のための「ボード」の掲示及び介護予防教室の周知を実施。また、平日の朝8：30～のラジオ体操の場の提供を行う。	◎
地域事業への協力や参加	8/22-24.26.-28	納涼祭 参加者人数：93名、ボランティア13名	○
	①7/27 ②1/4	お神輿見学 ①参加者人数：15名 ②参加者人数：13名、地域住民10名	○
地域ボランティアの受け入れ	①4/6.12.17 ②5/7 ③2/11	演奏会 ①参加者人数：58名、ボランティア3名 ②③参加者人数：38名、ボランティア10名	○
	12/16-21	年忘れ会 参加者人数：97名、ボランティア：14名	○
	2月19日	コーラス鑑賞会 参加者人数11名、ボランティア8名	○
	9/12-14.16-18	敬老祝賀会 参加者人数：101名、ボランティア11名	○
他団体との連携	-	交流会（保育園・小学校） 新型コロナウイルス感染症対策ため中止した。	△

※施設の設置目的に即して利用者のための活動を適切に実施していれば「○」、その中で、特に市立施設であるという特性を鑑み、地域住民が参加できる多世代間交流や地域活動の促進に繋がる事業については、広がりのある取組として評価し「◎」と評価する。

5 利用者の満足度

評価（5評価）	評価理由・委員会意見
A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の満足度の達成度は104.5%であり、評価基準により「A」と評価した。 ・達成度は、高い水準で推移しており、「情報提供」に関する項目や、「日常生活支援」に関する項目について「満足」・「まあ満足」の割合が増加している点が評価できる。 ・様式の変更による利用者の混乱を避けるためと推測するが、外部機関による客観的な視点の評価があると良い。

利用者満足度調査	
調査手法/サンプル数	法人独自の無記名アンケートを期間中実績のある利用者31人に配布し、回収は25人（回収率80.6%）。実績値（満足度）は次の計算式により求めた値。「事業所に対する評価の全設問（39問）の合計点÷（最大点数（3点）×全設問の有効回答数）×100」 ※配点：満足3点/まあ満足2点/やや不満1点/不満0点/該当なし・無回答は採点の対象外。
目標値の基準	平成29年度から令和3年度に実施した5年間の各市立デイサービスセンターにおける利用者満足度調査の実績値の平均

項目（単位）	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
目標値（%）	89.1	89.1	88.3	88.3	88.3
実績値（%）	92.5	90.5	89.5	89.7	92.3
達成度（%）	103.8%	101.5%	101.4%	101.6%	104.5%

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
アンケートBOX	通年	利用者・ご家族・訪問者からの意見を常時募集。玄関に設置。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	<ul style="list-style-type: none"> 経営状況に若干の懸念があり、施設の全体収支、事業収支がともに赤字となったため、評価基準により「C」評価とした。 収支は赤字であるが、施設の廃止に伴う人員配置の変更、派遣職員を利用しないなど人件費の削減における創意工夫が見られた点を評価する。

施設の収支概要		※直近3年間について記載 (千円)		
項目	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
収入 (a)	51,025	56,141	50,631	
介護報酬等	39,579	45,436	39,709	
利用者負担金等	9,640	10,121	9,475	
その他の収入	1,806	584	1,447	
支出 (b)	69,424	63,183	59,167	
人件費	45,471	43,113	37,339	
事業費	12,614	11,312	12,226	
事務費	11,244	8,757	9,523	
その他支出	95	1	79	
本体事業収支 [(a)-(b)] (c)	-18,399	-7,042	-8,536	
自主事業収入 (d)	0	0	0	
自主事業支出 (e)	0	0	0	
自主事業収支 [(d)-(e)] (f)	0	0	0	
事業活動収支 [(c)+(f)] (g)	-18,399	-7,042	-8,536	
施設整備等収入 (h)	0	0	0	
施設整備等支出 (i)	22	0	0	
施設整備等収支 [(h)-(i)] (j)	-22	0	0	
その他収入 (k)	0	5	7,766	
その他支出 (l)	384	396	1,078	
その他収支 [(k)-(l)] (m)	-384	-391	6,688	
全体収支 [(g)+(j)+(m)]	-18,805	-7,433	-1,848	
備考	▽前年度との比較 減収は利用者減によるもの ▽収入(その他) 指定管理者制度導入施設支援金：1,110,000円含む			

団体の財務状況	団体本体の経営状況について若干の懸念がある。
---------	------------------------

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング・現地確認により検査を実施
実施時期	令和7年2月12日

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	

8 ウェブアクセシビリティ

ホームページの作成	有
-----------	---

ウェブアクセシビリティの取組項目	取組状況
機種依存文字を使っていない。	○
ページ内の文字の大きさを変えることができる。	×
単語の途中にスペースや改行を入れていない。	○
ページ内容を的確に表しているタイトルが付いている。	○
ダウンロードできるファイルには、ファイルの種類とサイズを記載している。	×
画像には、代替テキスト等を付与し、支援技術利用者にも適切な代替情報を提供している。	×
背景色と文字色にコントラストを確保するなど、色使いに配慮している。	×
その他取り組んでいること	

9 指定管理者の自己評価

当初は移転を前提としていたために前年比とほぼ横ばいでしたが、春から夏にかけて施設入所等で利用終了者が増加したため利用者数は減少傾向となり、事業所の廃止が決定した12月以降は更に利用終了者も増加したことから、年間の利用実績は大きく下がりました。

経営状況について、収入面では利用者数の減少により収入減となっています。支出面では前年度で派遣職員を終了したことにより、前年と比較しても抑えることが出来ました。

機能訓練外出などの外出系や軽食づくりの活動を積極的に行っており利用者からも好評でした。

創作活動でも多様な作業工程のものを小グループで取り組み、役割分担することにより個々の利用者が主体的に行えるようになり、得意とすることを整理しながらその方にあった活動が提供できていました。

10 所管課意見

・利用者が個々の能力等を生かし、より充実した日々を過ごせるよう、ライフストーリーの作成等により個々の経歴や特性を把握し、自立支援ケアの実践、地域交流や機能訓練外出等、多様な事業を展開した点を評価する。

・令和6年度は、施設の廃止に伴う様々な対応が求められた。施設利用者の新たな受入れ先として、法人内での受入れ体制の調整等、当施設の運営と並行した対応に苦労があったものと推測するが、中でも事業数を増やし、最後まで利用者が充実した生活を送れるよう配慮していた。また、全員ではないものの当施設で勤務していた一部の職員・パート職員を受入れ先の施設へ配置転換し、利用者にとって顔見知りの職員がいる環境を整えたこと、また、新しい環境に慣れるため歩行訓練先を受入れ先施設の敷地内とするなど、自然と周辺環境に親しめるよう工夫していたこと、さらに新たな施設での入浴時間の変更にならないよう調整したことなど、利用者の負担を最小限に抑えるための柔軟な対応がされており、改めて深く感謝申し上げたい。

11 選考委員会意見

・収支について、健全経営と言えるレベルまで改善ができなかった点については残念であったが、施設の廃止に伴う人員配置の変更、派遣職員を利用しないなど人件費の削減における創意工夫が見られた点を評価する。

・すべての利用者が自分の力で活躍できるよう、洗濯、食器洗浄、食事の配膳作業等の生活活動の機能訓練を提供したこと、また、利用者が自ら選択して取組ができるように活動物品の設置場所を変更をし、より利用者の個々の能力や特性を生かせるような体制・環境を整えたことを評価する。利用者満足度調査においても日常生活支援に関する項目は評価が高く、また、サービス利用にあたっての意見として、行事の豊富さや内容が具体的に評価されている。

・ライフストーリーの作成は、利用者自身の「やりたい、できる」の気持ちを高めていく上で効果的だと感じた。国が掲げる地域共生社会の実現にも役立つ取組であったと考えられる。

・令和5年度は入浴後のドライヤー等の整容ボランティアについて、ボランティア人材の高齢化のため活動再開が難しかったとのことだが、令和6年度は一部再開され、地域ボランティアの受入れによる地域交流を積極的に図った点を評価する。

・入浴スケジュールやタイムスケジュールの見直しを行い、各職員が安心して役割に取組み、効率の良い人材配置による安定したケアができるような体制を整備した点を評価する。

総合評価（自動判定）

C

(50/100)

